

★COVID-19 危機は何を示すか＝ノーム・チョムスキ

哲学者で言語学者のノーム・チョムスキにとって、現在のパンデミックの最大の教訓は、「新自由主義型の資本主義がまたもや大失敗を犯した」ということであり、アメリカの場合、「トランプはじめ米政府を仕切っている道化師たちの反社会的な性格のためにいっそう深刻になっている」という。

チョムスキー氏はマサチューセッツ工科大学 (MIT) のオフィスから遠く離れたツーソン (アリゾナ州) の自宅で EFE とのインタビューに応じ、ウイルスの影響について、政府は「問題ではなく解決策」であることが明確になったと強調した。

Q 感染症からどんな教訓を導きだすことができるのでしょうか。

A 最も重要な教訓は、新自由主義型の資本主義の欠点がまた明らかになったことです。それが分からなければ、次に似たようなことが起こると事態はさらに悪化します。2003年のSARS流行後に何が起こったのか。科学者たちは、コロナウイルスの変種によるパンデミックが再びやってくることを知っていました。その時点で準備をしていれば、インフルエンザと同じように対処することができたでしょう。しかし、それは行われませんでした。

製薬会社は資源をもっていたし、いまでも大金もちですが、市場は間近の大災害に備えても利益がないと言っているので準備をしないのです。加えて新自由主義の金槌がきます。(新自由主義では) 政府は何もできません。政府は問題であり解決策ではないからです。

米国はワシントンで持ち込まれた計略で大変なことになっています。彼らは自分たちに責任があるのに、自分以外のすべての人に罪を負わせるすべを知っています。米国はいま震源地になっており、機能不全に陥って、感染に関する情報を世界保健機関 (WHO) に提供することさえできない国になっています。

Q トランプ政権の対応をどう思いますか

A 実際におこなわれたやり方は超現実的なものです。パンデミックはすでに2月に大混乱を引き起こしており、米国の誰もがそれを認識していました。ちょうどその2月にトランプ政権は予算を発表しましたが、それは注意してみるべきものです。疾病予防管理センターのほか健康に関連する予算が削減されて

います。パンデミックの最中に削減を行い、化石エネルギー産業の予算や軍事費、それに有名な壁の予算は増やしているのです。

これらすべてのことは、政府を動かしている社会病質的な道化師たちがどんな人々なのか、そして国が何に苦しんでいるのかを示しています。今彼らは必死に誰かのせいにしようとしています。中国や WHO などです。彼らが WHO にたいして行ったことは本当に犯罪的です。資金拠出をやめるといえるのはどういうつもりでしょう。WHO は世界中で、主に貧しい国々で、下痢、母性に関連する問題に取り組んでいます。彼らは何と言っているか。「よろしい。南の人にはたくさん死んでもらおう。その方が選挙の見通しを立てるのに役立つだろう」というのです。これは反社会病質的な世界です。

Q トランプ大統領は当初は危機を否定し、民主党のデマだとまでいいました。彼が事実に打ちまかれたのはこれが初めてといえるのでしょうか。

A トランプは信用されなければならないのです。彼はおそらくこれまでになかった自信家です。彼は「皆さんを愛しています。私はみなさんの救世主です。あなたのために昼も夜も働いています。どうか私を信頼してください」という。そういう看板をかかげながら、もう一方の手であなたを背後から突き刺すのです。何をするかに関係なく彼を崇拜する有権者とかこういう関係を持つのです。そして彼は、共和党員が見る唯一のメディアともいえるフォックスニュースやラッシュリンボー（極右派のラジオ解説者）、ブライトバート（極右のインターネットメディア）などが作り出すメディア現象に助けられています。

トランプがいつか「ただのインフルエンザだから忘れろ」といえば、彼らはそうだ、インフルエンザだから忘れなければならないというでしょう。翌日、今度はひどいパンデミックだ、最初に気づいたのは私だと言ったら、彼らは一斉にそれを叫び、彼が歴史上最高の人であると言うでしょう。

その一方、彼は朝フォックスニュースを見て、自分がどうか決めるのです。まさに驚くべき現象です。マードック、リンボー、ホワイトハウスの社会病質者たちが国を破壊に導いています。

Q このパンデミックは、自然との関係を変えることができるのでしょうか？

A それは若者次第です。世界の人々がどう対応するかにかかっています。これ

は私たちを新自由主義の手引書が今以上に拡大する非常に権威主義的で抑圧的な状態に導くかもしれません。覚えておいてください。資本主義階級は諦めません。彼らは化石燃料へのより多くの資金を要求し、保護を提供する規制を破壊します。米国ではパンデミックの最中に 水銀その他の汚染物質の排出を制限する規則が廃止されました。これは、より多くのアメリカ人の子供を殺し、環境を破壊することを意味します。彼らはやめません。そして反抗がなければ、世界は
いまのままです。

Q パンデミック後に地政学的な意味での権力地図はどのようなでしょう？

A 国際的なレベルで起こっていることは非常に衝撃的です。彼らが欧州連合と呼ぶものがあります。「連合」という言葉を聞きます。さて、ドイツをみてください。危機をうまく管理しています。イタリアでは危機は深刻です。ドイツから支援を受けていますか？幸いに援助を受けていますが、医者を派遣しているキューバのような「超大国」からです。あるいは中国です。中国は材料と援助を送っています。しかし欧州連合の豊かな国からの援助を受けていません。このことはある重要なことを示しています。

これまで真の国際主義を実証してきた唯一の国はキューバです。キューバはずっと米国による経済的な絞扼をうけてきましたが、奇跡的に生き残り、国際主義とは何かを世界に示し続けました。しかしアメリカではなかなか口をだしてはいけません。なぜならここではしなければならぬのは、人権侵害についてキューバを非難することだからです。実際は、最悪の人権侵害はキューバ南東部のグアンタナモと呼ばれる場所で起こっています。アメリカはそこで、銃を突きつけて返還を拒否しているのです。

教育を受けた素直なある人が、中国が非難されるべきだといって、「黄禍論」を唱え、中国人が私たちを破壊しようとしていると言っています。

アメリカのバーニー・サンダースやヨーロッパのバロファキス（ギリシャの元財務相）が始めた連合による進歩的な国際主義への呼びかけがあります。彼らは進歩的な団体によびかけて、ホワイトハウスやイスラエルあるいはオルバンやザルバニなど中東の残忍国家の手で案出された反動の動きに対抗しようとしています。オルバンやサルバニといった連中の生きる楽しみは、アフリカから必死に逃げる人々を確実に地中海で溺れさせることです。

こうしたすべての国際的な「反動主義」を一方に置くと、問は彼らに対抗できるかということです。そして、私のみるところ唯一の希望はバーニー・サンダースが築き上げたものです。

Q 失ったのは

A サンダースのキャンペーンは広く失敗だったと言われていますが、完全な間違いです。それは大成功でした。サンダースは議論と政治の領域を変えることに成功し、数年前にはふれることができなかつた非常に重要な事柄、たとえば生存に不可欠なグリーンニューディールのようなテーマが現在議論の中心になっています。

裕福な人々はサンダースに資金を提供していません、彼はメディアのサポートがありませんでした。党機関は操作をして彼の指名を避けなければなりません。丁度英国と同じようです。英国では、労働党を民主化していたコービン（党首）を党内の右翼が破壊しました。彼らは選挙に負けても構わないと思っていました。

これは米国で多く見られましたが、（サンダース派の）運動は続いていて人気があります。成長しています、彼らは新しいです。ヨーロッパにも同様の運動があり、彼らは際立つことができます。

Q グローバリゼーションはどうなると思いますか？私たちが知っている通りなのでしょうか。

A グローバリゼーションには何の問題もありません。たとえばスペインへの旅行に行っても大丈夫です。問題は、どのような形のグローバリゼーションなのかです。発達したのは、新自由主義のもとにありました。彼らが設計したものです。それは最も豊かな人々をますます豊かにし、巨大な力が企業と独占体の手にあります。また非常に脆弱な形態の経済をもたらしました。可能な限り低いコストで物事を行う効率的なビジネスモデルに基づいています。そういう思考に従ったために、例えば、病院に特定のものが無いという事態になりました。病院は効率的ではないからです。

造られた壊れやすいシステムは崩壊しつつあります。問題に対処できないから

です。脆弱なシステムを設計し、中国のような場所でのみ製造と生産を集中化する場合です。アップルを見てください。莫大な利益を生み出しますが、そのうち中国や台湾に留まるものはほとんどありません。彼らのビジネスの大部分は、おそらく税金をほとんど払わなくてよい税金天国の 아일랜드 に設立された、おそらく私の書斎と同じ大きさのオフィスに行き着くのです。

Q 彼らはどのようにしてタックスヘイブンにお金を隠すことができるのですか？ それは自然法則の一部ですか？

A いいえ、実は米国でもレーガン（政権）までは違法でした。株式の売却と同じです。

Q それらは必要でしたか？

A レーガン政権がそれを合法化したのです。すべては設計されたもので、決定です。それは私たちが長年にわたって見てきた結果もたらしました。そして「ポピュリズム」と誤って名付けられたものを見つける理由の 1 つになっているのです。多くの人々が怒り、憤慨し、政府への憎しみを正当化しました。それがデマゴグたちの肥沃な土壌となり、彼らは私こそがあなたの救世主だ、移民はああだ、こうだと言うことができるのです。

Q パンデミック後、米国は全員無料の医療に近づくとおもいますか？

A その議論はとても興味深いです。たとえばサンダースの政策はユニバーサルヘルスケアや大学授業料の無料化ですが、人々は領域全体のイデオロギーで批判しています。最も興味深い批判は左から来ています。ニューヨークタイムズ、CNN などの最もリベラルなコラムニストたちは、良いアイデアだがアメリカ人には適さないというのです。

国民皆保険は至る所にあります。ヨーロッパのすべてにあれこれの形態で。ブラジル、メキシコなどの貧しい国々でも。

Q . 無料の大学教育はどうですか？

A どこにでもありますよ。フィンランド、ドイツ、メキシコなどにもあります。ですから左派の批評家が言っていることは、米国の社会は非常に後れているの

で、世界の他の国のレベルの能力がないということです。あなたに自然、文化、社会について多くを伝えます。

(以上) (2020年4月22日 EFE)